６／１６　校長室より №241

〈今日の壮行式で、選手諸君に次のような激励の言葉を贈りました〉

「彼も人なり、我も人なり」

対戦相手も人間ならば、自分も人間。相手にできて自分にできないわけがない。「自分はできる」と信じて戦ってきてほしい。

「彼も人なり、我も人なり」

本番を明日に控え、緊張している人もいることだろう。しかし、それは君たちだけではない。対戦相手も、緊張したり不安を感じたりしているはずだ。

「彼も人なり、我も人なり」

君たちも中学生なら相手も中学生。高校生や大人と戦うわけではない。勝負は何が起こるかわからない。試合終了のホイッスルまでわからない。粘り強く戦ってこい。最後まであきらめずに戦ってこい。

「彼も人なり、我も人なり」

それぞれの競技は人間のやることである。周りで見ているのも人間だ。周りを味方につけろ。周りから応援されるチーム、応援される個人たれ。そのためには、ひたむきにプレーする、全力で相手に向かうことはもちろん、あいさつや礼儀、きびきびした行動、用具や持ち物の整理整頓など、人としての基本的な

行動が大切である。試合場の中でも外でも気持ちのいい行動・態度をとってこそ、周りから認められ応援されるようになる。そういうチームこそ勝つ資格のあるチームだと私は思う。

最後に「感謝の心」をもって大会に臨んでほしい。まずは家族。君たちの体を心配し、練習試合や大会の時は朝早くから起きて弁当を作ったり送り迎えをしたり、君たちの一番近くで一番応援してくださったのは、まちがいなくお家の方々である。次に休日も返上して熱心に指導してくださったコーチや顧問の先生。そして、学校後援会を中心に君たちの活動を物心両面で支えていただいている地域・町民の皆様にも是非感謝を。これらの人たちの“思い”や“願い”を正面から受け止め、その意気に感じ、感謝の心を持ってプレーしてこなければならない。

「彼も人なり、我も人なり」

この言葉を胸に、明日は各試合会場で正々堂々と精一杯戦ってきてほしい。ああ若鷲に光あれ。飯豊中の若鷲たちの健闘を祈る！

〈父母と教師の会育成部の方より
激励の品をいただきました〉